

地域おこし協力隊 管理業務の民間委託に関する提案

■ 提案の趣旨

地域おこし協力隊の管理業務を民間に委託し、自治体の負担を軽減しつつ、専門的・継続的な支援体制を構築することで、隊員の定着と活躍を促進します。

■ 背景と課題

- 自治体の人員・ノウハウ不足によるサポート体制の弱さ
- 隊員の早期離職や地域とのミスマッチ
- 担当職員の業務負担増加

■ 当団体の特長（セールスポイント）

✓ セールスポイント①：早期離職補填制度

隊員が1年未満で離職した場合でも、当団体が補填することで自治体の財政リスクをゼロに。

→ 安心して導入・継続できる仕組みを提供。

✓ セールスポイント②：地方に必要な人材を育てる専門プログラム群

当団体では地方で本当に必要とされる人材を育成するため、以下のプログラムを実施しています：

- 農業6次化定住プログラム - 土業資格取得プログラム
- ITエンジニア育成プログラム - アーティスト支援プログラム

✓ セールスポイント③：全隊員が「ライフスタイルサポーター」に

すべての協力隊員が、高齢者見守り・買い物支援などの地域福祉活動に参加。

→ 地域住民との信頼関係構築、住民の幸福度向上に貢献。

✓ セールスポイント④：人材マッチングの質が高い

独自の評価指標とデータベースで、地域のニーズに合った人材を選定。

→ ミスマッチを回避し、即戦力を確保。

✓ セールスポイント⑤：研修とフォローアップが充実

着任前後の研修や進捗面談、メンタルサポートを通じて隊員の定着を支援。

→ 離職防止・活躍促進に直結。

■ 委託業務の内容例

- 募集広報、選考補助、面接調整 - 着任支援（住居、地域案内）
- 活動計画作成、進捗管理 - 研修・定着支援、地域調整- 成果報告支援、事務処理

■ 期待される効果

- 協力隊員大幅増員可能
- 自治体職員の業務軽減（負担約30%削減見込）
- 隊員・地域住民の満足度向上